

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

Queyras... "Al Icha"

ジャン=ギアン・ケラス チェロ
Jean-Guihen Queyras, Cello

アタイル: チェロ協奏曲「アル・イシャ」(日本初演)
Attahir: Cello Concerto "Al Icha" (Japan Premiere)

鬼才ケラスが生む異次元のグルーヴ

人は夜に
祈りを捧げ、
夜明け前に
革命を決意する。

Masato... "Eroica"

鈴木 優人 指揮者/クリエイティブ・パートナー
Masato Suzuki, Conductor

ベートーヴェン: 交響曲第3番 変ホ長調 作品55 「英雄」
Beethoven: Symphony No.3 in E flat major, op. 55 "Eroica"

気鋭マサトが振る、鮮烈なる「英雄」

読売日本交響楽団 第629回 定期演奏会

2023 **6.13** (火) 19:00 サントリーホール

S¥8,000 A¥7,000 B¥6,000 C¥4,500

YNSO Subscription Concert No. 629 / Tue. 13 Jun. 2023, 19:00 / Suntory Hall

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成: 文部科学省 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))、独立行政法人日本芸術文化振興会

協力: アフラック生命保険株式会社

気鋭マサト×鬼オケラス クラシックの“現在”を問う！

鈴木優人が、クラシック音楽の“現在”を問うプログラム。マサトは、これまでも古典派の音楽と現代作品を組み合わせ、数々の刺激的なステージを生んできた。今回は、1989年生まれのフランス人作曲家バンジャマン・アタイルのチェロ協奏曲「アル・イシャー」と、“交響曲”の歴史を変えたベートーヴェンの畢生の大作「英雄」を並べた。

前半には、現代作品を得意とする世界的チェリストのジャン＝ギアン・ケラスが登場。バロック音楽から近現代作品まで幅広いレパートリーを誇るケラスは、同時代作品の委嘱・初演を一つのライフワークとし、ミュライユ、マントヴァーニら作曲家の世界初演を手掛けてきた。2021年2月にケラスは「アル・イシャー」を世界初演した。作曲家は、西洋と東洋を融合させた独自のスタイルで数々の作品を生み、欧州で注目を浴びているアタイル。イスラム教徒は日に5回礼拝を行うが、この曲は1日の最後に行う夜の礼拝(イシャー)に着想を得た、夜の祈りの音楽だ。家族の一部が今もレバノンに住んでいるという作曲家は、礼拝を呼び掛ける声「アザーン」にも惹かれたと語る。一人が発して、複数のグループへと広がる音楽のイメージが、



鈴木優人 指揮者/クリエイティブ・パートナー

マルチな才能で新時代を切り拓く気鋭。2020年4月から読響指揮者/クリエイティブ・パートナー。東京芸術大学卒業および同大学院修了。オランダ・ハーグ国立音楽院修了。国内外の楽団を指揮し、鍵盤楽器奏者としても活躍。13年から調布国際音楽祭のエグゼクティブ・プロデューサー。18年にパッサ・コレギウム・ジャパン(BCJ)首席指揮者に就任。BCJオペラシリーズのプロデュースを務め、20年「リナルド」などで高く評価された。今年3月末から4月にオランダ・パッサ協会で「マイア受難曲」全13公演を指揮し、成功に導いた。NHK-FM「古楽の楽しみ」にレギュラー出演中。齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞など受賞多数。



ジャン＝ギアン・ケラス チェロ

現代作品も数多く手掛け、幅広いレパートリーで意欲的な活動を続ける世界的チェリスト。1967年モントリオール生まれ。ウィーン・ムジークフェライン、ウィグモアホール、カーネギーホールなど欧米各地でリサイタルを開催している。また、バリ管、ウィーン響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管などの一流楽団と共演。アルカント・カルテットのメンバーを務めるなど、室内楽奏者としても活躍。数多くのCDをリリースし、高い評価を得ている。楽器は1696年ジョフレド・カッパ製(メセナ・ミュージカル・ソシエテ・ジェネラルより貸与)。現在、フライブルク音楽大学教授。読響とは2016年にデュエティー、19年にリゲティのチェロ協奏曲を弾き、絶賛された。

独特のリズム感とサウンドで描かれる。深く温かいエネルギーに満ちた夜へ、ある感覚から別の色へと移ろいゆく時間が、陶酔的なグルーブ感や安らぎの静けさと共に訪れるだろう。鬼オケラスの作り出す異空間に注目だ。

後半は、フランス革命の10年後、ベートーヴェンが同時代の英雄ナポレオンを讃えて書いたとされる「英雄」。冒頭の二つの和音に始まり、そのスケールや構成など型破りなもので、英雄的なイメージを調性(変ホ長調)や楽器(ホルン)で表し強烈なインパクトを残した。このことは音楽史で数多くの作曲家に影響を与え、今日の映画音楽やゲーム音楽などにも引き継がれていると言われている。また第4楽章には、トルコ音楽から影響を受けたとされる自作「プロメテウスの創造物」からの引用がある。ベートーヴェンが、当時からグローバルな視点でイスラムの文化とも向き合い、新たな芸術を創作していたことが分かる一例だ。さらにグローバル化の進んだ今、マサトは現代の視点からベートーヴェンのスコアを新たに見つめ、作品の揺るぎなき革新性を露わにするだろう。

読響日本交響楽団 第629回 定期演奏会

2023年6月13日(火)19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥8,000 / A ¥7,000 / B ¥6,000 / C ¥4,500

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

【学生券】 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyoku.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

読響ホームページ <https://yomikyoku.or.jp/>